

地域連携HACCP導入実証事業(広島市)

広島市健康福祉局保健部食品保健課
斧田敏嗣

【地域連携HACCP導入実証事業とは】

国際的な基準を定めているコーデックス委員会が示すHACCPの7原則12手順について、柔軟性の考え方も踏まえたHACCP導入の具体的事例を積み重ね、HACCPを全国的に普及していくため、コンサルタント事業者、食品関係団体、自治体等が連携して支援を行うものです。

この事業では、食品等事業者において主体的にHACCPが導入される過程、そこで明らかになった課題や解決策等をまとめた事例集を作成し、食品等事業者や自治体がHACCP導入を促進していく際の一助とする。

中国四国厚生局

広島県

検討会議

中国地方自治体

コンサルタントA

保健所(Bチーム)

支援

支援

そうざい製造業A社

加工水産物製造業B社

進行管理

アドバイザー

支援

支援

保健所(Aチーム)

コンサルタントB

【事業の内容】

- 1 製造施設での現場確認(広島市、コンサル)
製造施設への立入を1回／月以上行い、製造現場における問題点の改善等について指導を行う。
- 2 検査(広島市、コンサル)
衛生状態の客観的な指標として、製品検査及び施設・設備の拭取り検査等を適宜行う。
- 3 衛生講習会の実施(コンサル)
講習会を定期的に行い、衛生意識の向上を図る。

4 検討会議の開催

(1) 参加者

対象事業者、コンサルタント事業者、
行政（中国四国厚生局、広島県、広島市）
※中国地方の他自治体はオブザーバー参加

(2) 内容

HACCPを導入するにあたっての課題、対応策
の検討を行う。

(3) 実施回数

3回（7月、12月、3月）

5 アンケート調査（広島市）

従事者に対しアンケート調査を行い、HACCP導入
過程における従事者の意識の変化や課題等につい
て調査を行う。

【そうざい製造業A】(Aチーム)

1 創業

明治34年(1901年)

2 業種

そうざい製造業(肉じゃが)

3 従事者数

350人

4 製造数量

約3,000食／日



下処理室

加熱調理室





盛付室

盛付室



【加工水産物製造業B】(Bチーム)

1 創業

明治41年(1908年)

2 業種

加工水産物製造業(とろろ昆布)

3 従事者数

50人

4 製造数量

約7,000袋／日



漬前場

選別





中間製品置き場

切削機及び詰合せ場

